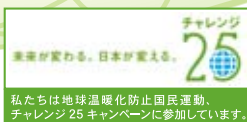


# KONDOTEC REPORT

平成 22年 4月 1日～平成 22年 9月 30日

第59期中間報告書



コンドーテックは地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チャレンジ25」に加盟し、企業理念にあります「豊かな社会づくりに貢献します」を実践すべく環境問題に取り組んでおります。



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに平成23年3月期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月



代表取締役社長 菅原 昭

## ● 当第2四半期の業績

平成23年3月期第2四半期  
連結累計期間の業績結果

売上高 16,966 百万円

営業利益 395 百万円

経常利益 442 百万円

四半期純利益 383 百万円

### 【連結経営成績】

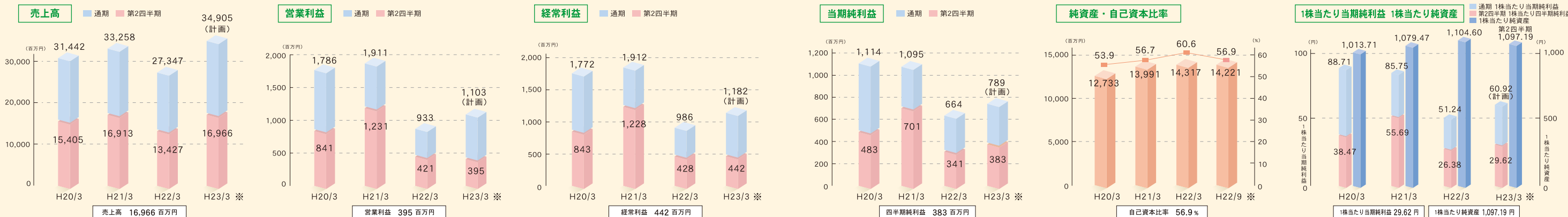
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き回復基調にあるものの、欧米の景気減速懸念や急激な円高の進行により、設備投資は持ち直し基調をたどりながらも勢いに欠け、雇用・所得環境にも改善が見られず、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、新設住宅着工戸数はプラスに転じているものの、設備投資の抑制により建築物全体の需要は低迷し、同業他社との販売競争に一層拍車がかかるなど、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、販売先におけるインストアシェアの拡大など諸施策を講じてまいりました。また、本年4月に三和電材株式会社を連結子会社とし、相互の業績向上のため、シナジーを最大限発揮し、事業拡大を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,966百万円となりました。また、価格競争激化による売上総利益率の低下とのれん代の償却などにより、営業利益は395百万円、経常利益は442百万円、四半期純利益は383百万円となりました。

なお、平成23年3月期第1四半期に新たに子会社を取得し、単体決算から連結決算に移行したため、前年同期比の表示は記載しておりません。



※平成23年3月期第1四半期に新たに子会社を取得し、単体決算から連結決算に移行したため、第58期以前の数値は単体決算であり、参考値です。

【セグメント別業績】

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりです。

▶ 産業資材

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している産業資材部門は、建築工事物件の低迷により、関連商材の荷動きは悪く、軟調といった状況でありましたが、コンテナバッグをはじめとする現場消耗品の受注増、木造住宅着工戸数の増加により木造住宅用金物の売上高は伸ばしました。

以上の結果、当第2四半期の産業資材部門の売上高は9,950百万円、セグメント利益は415百万円となりました。

▶ 鉄構資材

鉄骨建築の外部環境は、推定鉄骨需要量が月間30万吨前後で推移する状況に変化は見られず、鉄骨建築物の限られた需要をめぐる競争の激化と販売価格の下げ圧力は依然として厳しい状況で、主力商材であるブレース、鉄骨部材、アンカーボルト、ハイテンションボルトなどは低調に推移いたしました。

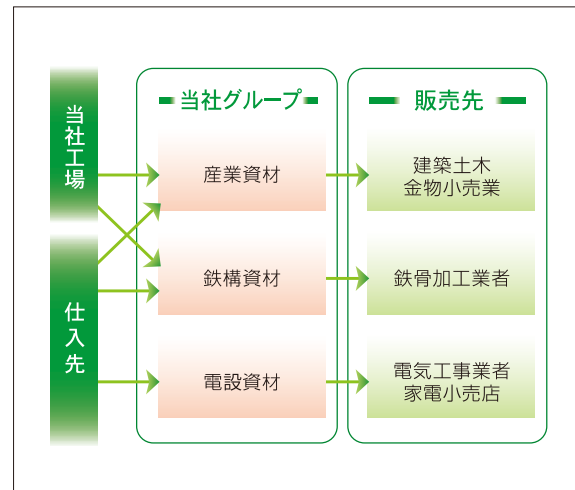
以上の結果、当第2四半期の鉄構資材部門の売上高は3,770百万円、セグメント損失は67百万円となりました。

▶ 電設資材

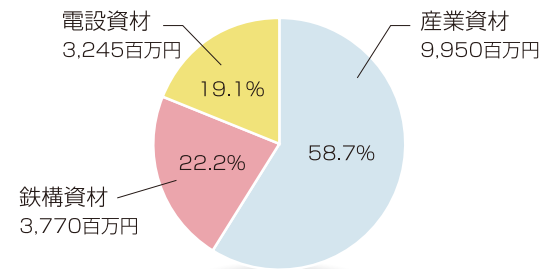
空調・換気扇、家電、照明などの売上高は伸び、特に空調は猛暑による影響と09年版のエアコンは低価格の仕入れが奏効し、好調に推移いたしました。またLEDやエコキュート、リフォーム関係向けの太陽光発電などは、低炭素社会の成長産業として需要が拡大しております。

以上の結果、当第2四半期の電設資材部門の売上高は3,245百万円、セグメント利益は74百万円となりました。

セグメント別販売ルート



セグメント別売上構成比



● 通期の見通し

平成23年3月期の通期連結業績予想

売上高	34,905 百万円
営業利益	1,103 百万円
経常利益	1,182 百万円
当期純利益	789 百万円

今後の見通しにつきましては、景気は回復基調のペースが鈍化し、下ぶれリスクが強まっていることから、不透明感を増しながら推移していくものと思われます。

当社グループは、建築物全体の需要が低迷する中で厳しい受注環境にありますが、見積物件の徹底的なフォローや集中購買による原価低減に取り組むとともに、連結子会社との相互の業績向上のため、シナジーを最大限発揮し、事業拡大を図ってまいります。

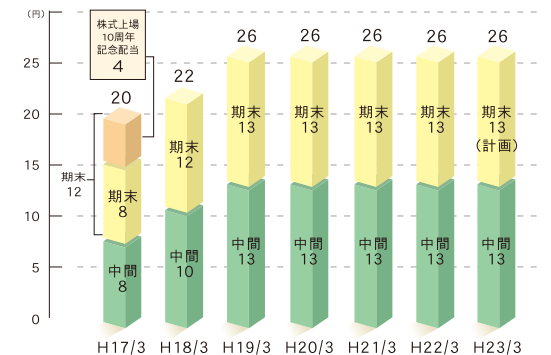
● 配当金

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけており、「収益の向上」「企業価値の増大」を図りながら、配当性向を勘案し、安定配当を目指すことを基本方針としております。

この方針のもと、平成23年3月期の中間配当金は1株につき13円とさせていただきます。

1. 中間配当金 1株につき13円
2. 支払開始日 平成22年11月26日(金)

1株当たり配当金



## TOPIC 1 埼玉営業所・新規事業関東営業所を移転

本年10月に埼玉営業所及び新規事業関東営業所を営業機能及び物流機能の充実のため、埼玉県川口市より同県川越市に移転いたしました。

当社では、今後も営業機能及び物流機能の充実とともに業務の効率化を推進してまいります。

所在地 埼玉県川越市芳野台二丁目8番地68  
敷地面積：5,962㎡ 延べ床面積：4,650㎡



## TOPIC 2 社会貢献活動の実施

### ●清掃活動の実施

本社周辺拠点の社員約40名で、本年9月に本社近辺の清掃活動を行い、地域の美化に勤めました。

当社は今後も良き企業市民として、地域社会の発展と豊かな社会づくりに貢献します。



## TOPIC 3 スポーツイベントへの参加

当社では、各地域でスポーツイベントへの参加を行っており、社員・家族間をはじめ、地域との親睦を深めています。



野球部(関西)「第41回大阪建設機械器具野球大会」優勝



りんくうリレーマラソン(関西)  
3チーム出場 42.195km全チーム完走



ソフトボールチーム(広島)  
「ソフトボール安佐リーグ」優勝

当社では、様々な場面で使用されますおよそ40,000点の製品・商品を扱っております。その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

### ●ワイヤロープ・繊維製ロープ

## ワイヤロープは物を吊り上げるだけでなく、生活の安全を担っています！

ワイヤロープは、建設作業での鉄骨などの吊り上げをはじめとする、船舶、運搬、荷役などの作業現場以外にも、私たちが安全に生活するのに欠かせない様々な場面で使用されています。



### ●例えばこのようなところで使用されています。

台風などの突風により木が倒れないようにするために、ワイヤロープが使用されています。



今や生活に欠かせなくなったエレベータにもワイヤロープが使用されています。



吊り橋では、ワイヤロープの張力で橋の安全を保っています。



### 繊維製ロープも活躍しています！

また、ワイヤロープ以外に繊維製ロープの「パワースリング」を取り扱っております。

このパワースリングは、軽量で玉掛作業がやすく、吊り荷を傷つけないという特徴があり、多くの作業現場で使用され、今日の物流にはなくてはならないものになっています。



コンド-パワースリング



■四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成 22 年 9 月 30 日)	科 目	(単位:百万円) 当第2四半期連結会計期間末 (平成 22 年 9 月 30 日)
<b>■資産の部</b>		<b>■負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>14,099</b>	<b>流動負債</b>	<b>9,032</b>
① 現金・預金	2,432	支払手形・買掛金	3,975
受取手形・売掛金	8,928	短期借入金	1,000
② たな卸資産	2,345	⑤ 未払金	2,998
その他の流動資産	436	未払法人税等	222
貸倒引当金	△ 43	その他の流動負債	836
<b>固定資産</b>	<b>10,879</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,726</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>8,925</b>	退職給付引当金	1,158
建物	2,231	その他の固定負債	568
土地	5,874	<b>負債合計</b>	<b>10,758</b>
その他の有形固定資産	820	<b>■純資産の部</b>	
<b>無形固定資産</b>	<b>541</b>	<b>株主資本</b>	<b>15,272</b>
③ のれん	275	資本金	2,328
その他の無形固定資産	266	資本剰余金	2,096
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,412</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>11,346</b>
④ 投資有価証券	935	自己株式	△ 498
その他の投資等	636	<b>評価・換算差額等</b>	<b>△ 1,051</b>
貸倒引当金	△ 160	その他有価証券評価差額金	523
<b>資産合計</b>	<b>24,979</b>	繰延ヘッジ損益	△ 5
		土地再評価差額金	△ 1,569
		<b>純資産合計</b>	<b>14,221</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>24,979</b>

■四半期連結損益計算書

科 目	(単位:百万円) 当第2四半期連結累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日から 平成 22 年 9 月 30 日まで)
⑥ 売上高	16,966
売上原価	13,551
⑦ 売上総利益	3,415
⑧ 販売費及び一般管理費	3,019
<b>営業利益</b>	<b>395</b>
<b>営業外収益</b>	<b>80</b>
受取利息・受取配当金	3
仕入割引	54
その他の営業外収益	22
<b>営業外費用</b>	<b>33</b>
売上割引	22
その他の営業外費用	11
<b>経常利益</b>	<b>442</b>
<b>特別利益</b>	<b>262</b>
投資有価証券売却益	217
その他の特別利益	44
<b>特別損失</b>	<b>4</b>
固定資産除却損	3
その他の特別損失	1
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>699</b>
法人税・住民税及び事業税	264
法人税等調整額	51
<b>四半期純利益</b>	<b>383</b>

(注)平成 23 年 3 月期第 1 四半期に新たに子会社を取得し、単体決算から連結決算に移行したため、それぞれの財務諸表には前期及び前年同期の表示は記載しておりません。

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円) 当第2四半期連結累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日から 平成 22 年 9 月 30 日まで)
⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー	158
⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 492
⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 468
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 802
現金及び現金同等物の期首残高	3,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432

■貸借対照表のポイント

- Point ① 現金・預金**  
現金・預金につきましては、右記の「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」をご参照下さい。
- Point ② たな卸資産**  
在庫削減に努め、回転期間は0.83ヶ月となりました。
- Point ③ のれん**  
子会社取得に伴い、新たにのれんを計上しております。
- Point ④ 投資有価証券**  
投資有価証券の売却及び時価評価替えに伴い、減少しております。
- Point ⑤ 未払金**  
一括支払信託の残高が減少したことにより、減少しております。

■損益計算書のポイント

- Point ⑥ 売上高**  
景気の先行き不透明により設備投資は手控えられ工場などの建築物着工は低迷しており、販売競争が続く厳しい状況ではありましたが、製品の拡販、新規開拓、休眠客の掘り起こしを行っております。
- Point ⑦ 売上総利益**  
売上総利益率は原材料や仕入商品の価格値下げに努め、20.1%となりました。
- Point ⑧ 販売費及び一般管理費**  
役員報酬の減額をはじめ販売管理費の削減を全社的に取り組んでおります。

■キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 当第2四半期における現金及び現金同等物の期末残高は2,432百万円となりました。  
主な要因は次のとおりです。
- Point ⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー**  
売上債権の増加及び賞与引当金の減少さらに法人税等の支払などの減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益及びたな卸資産の減少などによる増加要因により158百万円の収入となりました。
- Point ⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資有価証券の売却及び信託受益権の償還などの収入がありましたが、子会社株式の取得による支出により492百万円の支出となりました。
- Point ⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー**  
短期借入金の返済及び配当金の支払により、468百万円の支出となりました。

- ▶ 社名 コンドーテック株式会社  
(英文名 KONDOTEC INC.)
- ▶ 本社 大阪市西区境川二丁目 2 番 90 号
- ▶ 設立 昭和 28 年 1 月 14 日
- ▶ 資本金 23 億 2,810 万円
- ▶ 従業員 569名 (連結671名)
- ▶ 連結子会社 三和電材株式会社

- ▶ 役員
  - 代表取締役社長 菅原 昭茂
  - 常務取締役 平田 朋也
  - 常務取締役 安藤 莞爾
  - 常務取締役 滝水 重男
  - 取締役 堀江 勝彦
  - 取締役 近藤 藤勝
  - 取締役 山田 清人
  - 取締役 矢羽田 秀晴
  - 取締役 宮 夫
  - 取締役 (社外取締役) 徳田 勝
  - 常勤監査役 河瀬 哲夫
  - 監査役 (社外監査役) 稲田 龍一
  - 監査役 (社外監査役) 北山 諒

主要な事業内容

当社は、土木用・建設用・荷役用・船舶用金物、鋼材、溶接資材及び鉄螺の製造販売並びに輸出入を主な事業としております。

主な製品・商品 | The main product and commodity

**金物類**

ターンバックル、ブレース、シャックル、ワイヤクリップ、ロープ附属品、物流荷役機器、船舶・港湾関連資材



ターンバックル  
ブレース

駅での使用風景

**建設資材**

仮設足場、当板・本体、丸セパレーター、Uクリップ、アンカーインサート、鉄骨部材、現場用品、コンテナバック、木造用住宅金物



コンテナバックの河川での使用風景

**チェーン**

足場つりチェーン、ステンレスチェーン、強力チェーン、リンクチェーン、チェーンスリング



足場つりチェーン

高速道路の補修作業風景

**鉄螺**

ハイテンションボルト、ボルトナット類、アンカーボルト、角フックボルト



アンカーボルト

高架橋の基礎工事風景

**ワイヤロープ**

JISロープ、加工ロープ、繊維ロープ、ベルトスリング、モック、鋼より線



ロック止めワイヤロープ

テトラポッドを吊り上げる風景

**その他**

機械工具、施工用品、環境関連資材、街路・緑化資材



ガーデングレート

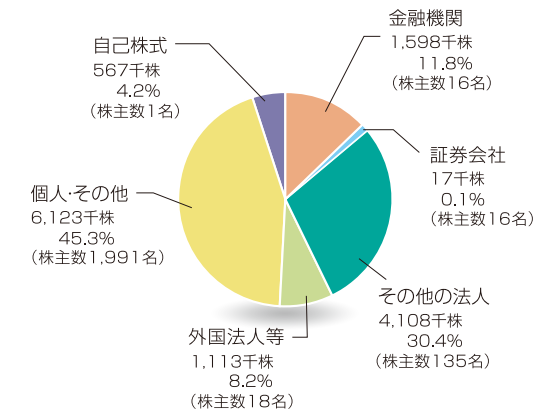
街路での使用風景

- ▶ 発行可能株式総数 30,000,000 株
- ▶ 発行済株式総数 13,528,500 株
- ▶ 株主数 2,177名
- ▶ 単元株式数 100 株
- ▶ 大株主

株主名	持株数	持株比率
(有)藤和興産	1,507千株	11.6%
ビービーエチフォーフィデリティロープライスストックファンド	1,000千株	7.7%
コンドーテック社員持株会	710千株	5.5%
大阪中小企業投資育成(株)	673千株	5.2%
近藤 勝彦	670千株	5.2%
(株)Fプランニング	450千株	3.5%
近藤 純位	401千株	3.1%
(株)三菱東京UFJ銀行	376千株	2.9%
近藤 延滋	352千株	2.7%
近藤 雅英	332千株	2.6%

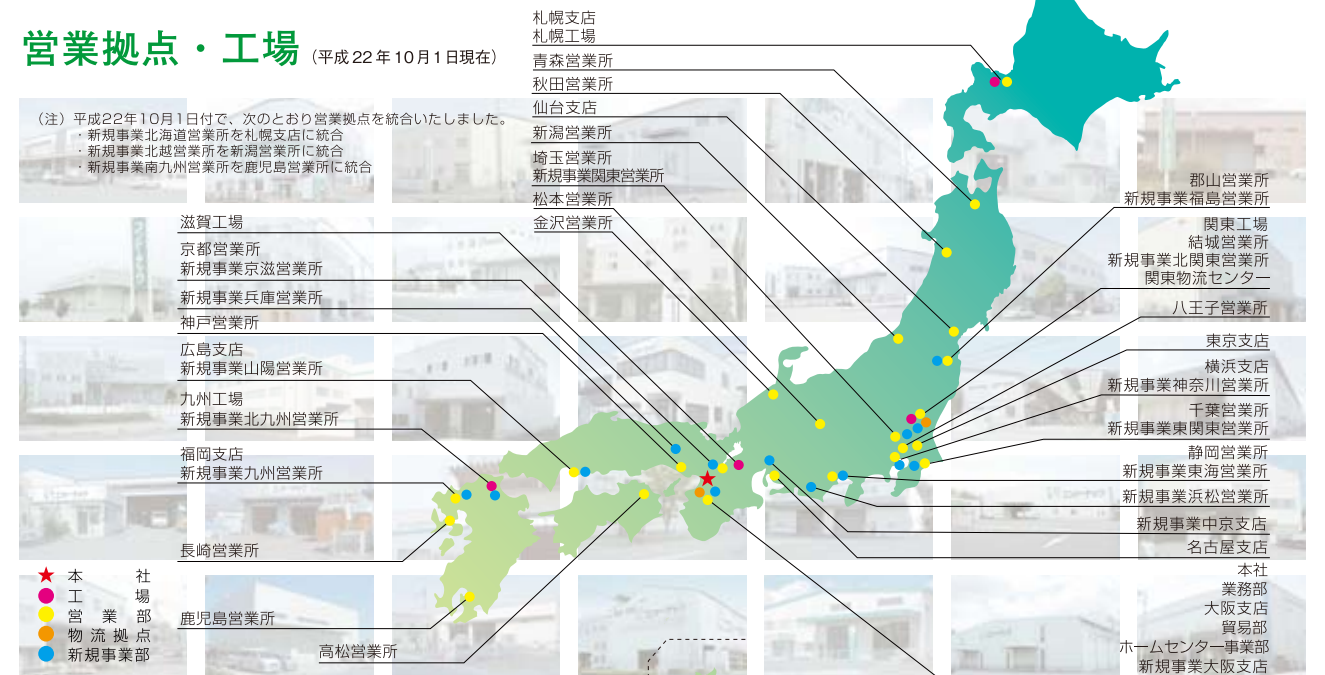
(注) 自己株式567千株は含めておりません。

所有者別株式分布状況



営業拠点・工場 (平成 22 年 10 月 1 日現在)

(注) 平成22年10月1日付で、次のとおり営業拠点を統合いたしました。  
 ・新規事業北海道営業所を札幌支店に統合  
 ・新規事業北越営業所を新潟営業所に統合  
 ・新規事業南九州営業所を鹿児島営業所に統合



## ● コンドーテックホームページのご案内

決算ハイライト、ニュースリリース、決算短信、有価証券報告書などの開示情報のほか、取扱製品・商品など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧下さい。



インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索

## ● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部 大阪証券取引所市場第2部

### [株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。
- ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合わせ先 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



コンドーテック株式会社

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号  
TEL 06-6582-8441 ir24@kondotec.co.jp

2010年11月発行

当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれています。  
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれています。



この印刷物は、環境に配慮し、大豆インキを使用しております。